

## 事務事業評価における総括

部 局 名	経済部	記入責任者	吉川 勝則
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>経済部の政策的事業は、59 事業の評価のうち、39 事業を S 評価、15 事業を A 評価としております。</p> <p>A 評価とした 15 事業については、指標の達成ができなかったものの事業の目的から一定の成果は上がっており、経済部の事務事業については、概ね順調に進捗しております。しかし、実施事業の成果を継続的に出していくためには、社会情勢に応じた取り組みを柔軟に検討し、適宜、事業内容の見直しを図っていく必要があります。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>産業振興課の C 評価となった道の駅整備推進事業については、工事完了・運営開始が目標値となっており、用地取得や一次盛土工事が終了する等、見直し後の開園時期である令和 4 年 3 月に向けては一定の進捗が見られております。今後も開園に向けた必要な調整等を引き続き実施してまいります。</p> <p>雇用労働課の就職活動支援事業については、茅ヶ崎市ふるさとハローワークにおける就職率を指標としています。新規求職者数や紹介件数が年々減少傾向により、労働市場の変化によるところもありますが、一方、生産年齢人口が減少する中で多様な働き方が求められており、さらにコロナ禍により労働環境にも影響が出ていることから、就労に関する相談や各種講座の開催、事業所と求職者のマッチング事業の実施等を関係機関との連携を密にして引き続き取り組みます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、イベント等を中心に多くの事業が中止となっており、次年度の事業評価は厳しいことが想定されます。さらに市税減収に伴い計画の見直しが必要となる事業が出てくることも想定されますが、指標を達成できなかった事業については、継続して成果を上げられるよう適宜事業の見直しを図っていきます。</p> <p>時間外についても、新型コロナウイルス感染症の影響による新規事業の実施により、更なる時間外の増加が見込まれますが、可能な限り事務の効率化や事業手法の改善を図り、ワークライフバランスの実現を目指していきます。</p>			